



少人数学級を推進せよ 県議会全会一致で決議！

吉良質問に県教育長 大変力強いものと受止める



●この10月、少人数学級を求める質問を伊藤県教育長に行った。
吉良県議「40人学級では新型コロナウイルスの感染予防ができない。わが党は6月に1クラス20人程度の少人数学級を実現するため、教員を10万人増やすなど教育

条件の抜本的整備を求める緊急提言を発表、私たち議員は、提言を持ち市内各校長を訪問し多くの賛同も得た。9月には、少人数学級を求める院内集会を参議院で開催し、7月から全国で展開したネット署名2万5千人、用紙署名14万7248筆を政府に提出「全国知事会でも実現を求めている」と一連の動きを紹介し教育長の姿勢を問うた。

伊藤県教育長「少人数学級編成の拡大につきましては、全国教育長会とともにこれまでにも国に要望提言をしてきており、本年7月には、全国知事会においても、子どもたちへの学びを補償するよう少人数学級編成を可能とする教員の確保が国に対して提言された。こうしたことは、本県としましても大変力強いものと受け止めております」

全国534議会が意見書 「国の責任で実現を」

●高知県議会は10月15日、「少人数学級を求める世論は、今や国民的な共通の要望」「国民の声に応え、国の責任において、少人数学級を推進すること」と、少人数学級推進を国に求める意見書を自民党も含め全会一致で採択！画期的な採択です。その後、16道県を含む534議会で採択されています。国の責任による少人数学級を実現するため、更に声をあげましょう。

キラリン
にやんでも通信

新を重ねる事としましょう。

10の数年来、息子とは行けていません。行ける時を楽しみに、父は免許更新が楽しく思い出されます。残念ながらキス、グシなど創太と一緒に釣った事が、宇佐や野見湾などで船を借り鰻や

●船舶免許の更新

息子の創太は小学校時代に釣りが大好きで、一人では危ないと高知新港など波止釣りに付き合っているうち、私も釣りにハマり船舶免許を取る羽目になりました。その後、5年ごとの免許更新を重ね、早20年です。この11月14日、4回目の更新の為の講習を受けました。宇佐や野見湾などで船を借り鰻や

28大会 改定綱領を学ぶ

- 「世界の構造変化」がもたらした21世紀の希望ある流れ
- 国際政治の主役が交代するプロセス
- 綱領に明記したジェンダー平等の意義

講師 川田忠明

1959年生。日本共産党中央委員会平和運動局長。平和委員会常任理事、原水爆禁止日本協議会全国担当常任理事などを務める。日本平和学会会員。東京大学経済学部卒業。「市民とジェンダーの横断」社会を変える23章 そして自分も変わる「それぞれの『戦争論』」など著書多数。

核兵器禁止条約発効へ

2017年7月7日 国連総会で採択（写真）。来年1月22日発効

『核兵器なき世界へ！ あらたな局面を開いた力とは』

『20世紀に進行した人類史の巨大な変化の分析にたつて、21世紀の世界の発展的な展望をとらえる』（志位委員長講演より）

●とき 11月28日（土）14時～16時
●ところ 人権啓発センター6階（高知市）

主催 日本共産党高知県委員会
TEL 088-824-1155

日本共産党